



平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信（非連結）

平成 25 年 2 月 21 日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 3145

本社所在都道府県 新潟県

本社所在地 新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号

問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長

氏 名 津野 芳彰

T E L (025)250-7335

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期の業績（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

（注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	千円 %	千円 %	千円 %
25 年第 3 四半期	19,690 (189.1)	38,173 (-)	39,794 (-)
24 年第 3 四半期	8,670 (61.2)	47,524 (-)	50,109 (-)

	当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
25 年第 3 四半期	39,794 (-)	537 47	- -	97.4	34.7	202.1
24 年第 3 四半期	50,109 (-)	705 09	- -	119.4	73.0	577.9

（注）1. 期中平均株式数 25 年第 3 四半期 74,040 株 24 年第 3 四半期 73,860 株

2. 会計処理の方法の変更 有 ・ 無

3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
25 年第 3 四半期	113,263	20,953	18.4	282 99
24 年第 3 四半期	81,466	55,750	68.4	754 81

（注）期末発行済株式数 25 年第 3 四半期 74,040 株 24 年第 3 四半期 73,860 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
25 年第 3 四半期	11,840	658	15,000	13,688
24 年第 3 四半期	70,969	218	65,656	7,589

2. 平成 25 年 3 月期の業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金 (円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	105,600	1,264	561	-	0	-	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 7 円 58 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

平成 25 年 2 月 21 日

第 10 期 第 3 四半期報告書

(平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで)

会社名（定款上の商号） マイコロジーテクノ株式会社
英 文 名 MYCOLOGY TECHNO . CORP .
コ ー ド 番 号 3145
代表者の役職氏名 代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所 新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電 話 番 号 025-250-7335
連 絡 者 代表取締役社長 津野 芳彰

四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位: 千円)

期 別 科 目	第 10 期 第 1 四半期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	第 10 期 第 2 四半期 自平成 24 年 7 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	第 10 期 第 3 四半期 自平成 24 年 10 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 23 年 12 月 31 日
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
売上高	6,327	7,531	5,831	19,690	8,670
売上原価	3,463	4,372	3,014	10,849	2,619
売上総利益	2,864	3,159	2,817	8,840	6,051
販売費及び一般管理費	16,898	15,283	14,832	47,013	53,576
営業損失	14,033	12,124	12,015	38,173	47,524
営業外収益	0	96	383	480	231
営業外費用	531	692	877	2,100	2,815
経常損失	14,565	12,720	12,509	39,794	50,109
税引前四半期(当期)純損失	14,565	12,720	12,509	39,794	50,109
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-	-
四半期(当期)純損失	14,565	12,720	12,509	39,794	50,109

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 10 期 第 1 四半期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	第 10 期 第 2 四半期 自平成 24 年 7 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	第 10 期 第 3 四半期 自平成 24 年 10 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 23 年 12 月 31 日
期中平均株式数	74,040 株	74,040 株	74,040 株	74,040 株	71,067 株
1 株当たり四半期（当期） 純損失	196 円 73 銭	171 円 79 銭	168 円 94 銭	537 円 46 銭	705 円 09 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純利益	-	-		-	-

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業の種類	第 10 期 第 1 四半期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日	第 10 期 第 2 四半期 自平成 24 年 7 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	第 10 期 第 3 四半期 自平成 24 年 10 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 23 年 12 月 31 日
マイコロジー事業	-	-		-	-
健康食品販売事業	6,327	7,531	5,831	19,690	8,670
合 計	6,327	7,531	5,831	19,690	8,670

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位 : 千円)

期 別 科 目	第9期末	第10期第1四半期	第10期第2四半期	第10期第3四半期
	平成24年3月31日現在	平成 24 年 6 月 30 日現在	平成24年9月30日現在	平成 24 年 12 月 31 日現在
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
流動資産				
1. 現金預金	10,788	8,924	11,188	13,688
2. 受取手形	-	281	10,290	-
3. 売掛金	27,843	14,188	5,325	14,050
4. 製 品	4,099	7,024	4,186	9,080
5. 半製品	3,178	1,502	1,343	6,560
6. 原材料	25,484	24,939	24,559	23,323
7. 仕掛品	39,869	44,924	46,932	41,880
8. 前払費用	653	653	653	653
9. 未収入金	81	550	658	20
10. その他	0	-		726
流動資産合計	111,998	102,994	105,139	109,983
固定資産				
1. 有形固定資産				
工具器具備品	316	276	237	197
有形固定資産合計	316	276	237	197
2. 投資その他の資産				
敷 金	2,857	2,857	2,857	2,857
長期前払費用	291	269	246	224
投資その他の資産合計	3,149	3,126	3,104	3,082
固定資産合計	3,465	3,403	3,341	3,279
資産合計	115,464	106,398	108,480	113,263

(単位：千円)

期 別 科 目	第9期末 平成24年3月31日現在	第10期第1四半期 平成 24 年 6 月 30 日現在	第10期第2四半期 平成 24 年 9 月 30 日現在	第10期第3四半期 平成24年12月31日現在
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
流動負債				
1. 買掛金	12,187	2,779	425	1,627
2. 短期借入金	38,000	54,000	72,000	87,000
3. 未払金	2,155	1,992	1,918	2,015
4. 未払費用	-	531	0	877
5. 未払法人税等	1,471	-	-	-
6. 前受金	2	2	0	-
7. 預り金	898	908	674	479
8. 仮受金	-	-	-	310
流動負債計	54,716	60,216	75,018	92,310
負債合計	54,716	60,216	75,018	92,310
(純資産の部)				
株主資本				
1. 資本金	368,712	368,712	368,712	368,712
2. 資本剰余金				
資本準備金	316,712	316,712	316,712	316,712
資本剰余金合計	316,712	316,712	316,712	316,712
3. 利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	624,676	639,241	651,961	664,470
利益剰余金合計	624,676	639,241	651,961	664,470
株主資本合計	60,747	46,182	33,462	20,953
純資産合計	60,747	46,182	33,462	20,953
負債・純資産合計	115,464	106,398	108,480	113,263

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第9期末 平成24年3月31日現在	第10期第1四半期 平成 24 年 6 月 30 日現在	第10期第2四半期 平成 24 年 9 月 30 日現在	第10期第3四半期 平成24年12月31日現在
発 行 済 株 式 数	74,040 株	74,040 株	74,040 株	74,040 株
1 株 当 た り 純 資 産 額	820 円 47 銭	623 円 74 銭	451 円 94 銭	282 円 99 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 12 月 31 日)

(単位：千円)

項目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越 利益剰余金			
平成 24 年 4 月 1 日残高	368,712	316,712	316,712	624,676	624,676	60,747	60,747
第 1 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	14,565	14,565	14,565	14,565
第 1 四半期中の変動額合計	-	-	-	14,565	14,565	14,565	14,565
平成 24 年 6 月 30 日残高	368,712	316,712	316,712	639,241	639,241	46,182	46,182
第 2 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	12,720	12,720	12,720	12,720
第 2 四半期中の変動額合計	-	-	-	12,720	12,720	12,720	12,720
平成 24 年 9 月 30 日残高	368,712	316,712	316,712	651,961	651,961	33,462	33,462
第 3 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	12,509	12,509	12,509	12,509
第 3 四半期中の変動額合計	-	-	-	12,509	12,509	12,509	12,509
平成 24 年 12 月 31 日残高	368,712	316,712	316,712	664,470	664,470	20,953	20,953

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5【経理の状況】 1【計算書類等】 (4)【個別注記表】 重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1 . 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2 . 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等を相殺し、未収入金として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

第 10 期第 3 四半期の業績の概況（平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日）

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

当第3四半期におけるわが国経済は、欧州政府債務危機や減速気味の中国や新興国経済で不安定な世界経済のなか、昨年末の政権交代により円安と株高が急速に進んだことや、復興支援予算の上積みによる景気刺激策があり、回復のきざしがある状況で推移しています。また加速している高齢化によって、健康維持やエイジングケア等の健康食品の市場は、拡大を続けると考えられます。

平成24年9月7日に開催された越後白雪茸研究会で、メタボリックに関する新たな研究成果や物質特定の新進状況が発表されました。その研究会で基調講演された大阪大学医学部の伊藤壽記先生が大会長を務める第10回日本統合医療学会にて、越後白雪茸製品が展示されて好評を得ました。

サーチュイン遺伝子を発現して傷ついた遺伝子を修復すると言われていたレスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」が多くの方々から評価を得て、売上を伸ばしています。全国に販売チャネルのある取引先から依頼を受けて、「蘇りレスベラ」をベースにした新商品を開発中です。

また越後白雪茸製品のOEM「バシックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。その販売店では、その他の越後白雪茸製品もお取り扱いいただき、今後の売上増加の基礎固めを進めています。

次年度の発売に向けて、高圧抽出した越後白雪茸のエキスを原料とするドリンクを開発中のメーカーや、他の素材を越後白雪茸と合わせたサプリメントを試作中の販売店もあります。

しかし、まだ目標値を超えるまでの売上の伸びはありませんでした。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高 5,831 千円（前年同期売上高 3,877 千円）、営業損失 12,015 千円（前年同期 営業損失 15,511 千円）、経常損失 12,509 千円（前年同期経常損失 16,460 千円）、四半期純損失 12,509 千円（前年同期 四半期純損失 16,460 千円）となりました。

第 10 期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目 \ 期 別	第 9 期（実績） 自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日	第 10 期（予測） 自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日
売 上 高	38,108	105,600
営業利益又は損失（ ）	46,218	3,386
経常利益又は損失（ ）	49,304	1,264
当期純利益又は損失（ ）	50,007	561

資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 10 期 第 1 四半期 自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日	第 10 期 第 2 四半期 自平成 24 年 7 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	第 10 期 第 3 四半期 自平成 24 年 10 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日
現金及び預金の増減額	1,864	2,263	2,500
現金及び預金の四半期首残高	10,788	8,924	11,188
現金及び預金の四半期末残高	8,924	11,188	13,688

(主な増減理由)

当第3四半期における現金及び預金の増加の主な理由は、短期借入金の借入による増加額 15,000 千円、仕入債務による減少額 1,202 千円、その他流動負債による減少額 1,089 千円、売上債権による増加額 1,565 千円、たな卸資産による減少額 3,821 千円、税引前四半期純損失による減少額 12,509 千円、その他流動資産による減少額 88 千円等によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 10 期 第 1 四半期 自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日	第 10 期 第 2 四半期 自平成 24 年 7 月 1 日 至平成 24 年 9 月 30 日	第 10 期 第 3 四半期 自平成 24 年 10 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日
短期借入金増減額	16,000	18,000	15,000
短期借入金の四半期首残高	38,000	54,000	72,000
短期借入金の四半期末残高	54,000	72,000	87,000

(主な増減理由)

当第3四半期における短期借入金の増加の主な理由は、健康食品事業にかかる株式会社国際総合ファイナンスからの借入による増加額 15,000 千円によるものであります。

その他

該当事項はありません。

以上